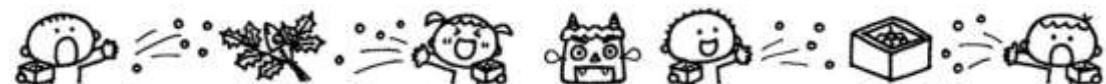


インフルエンザの流行でなかなか全員が揃わない2月でした。今年度も残り1ヵ月。卒園式の練習も始まり、頑張っている子どもたちです。体調管理には十分に気を付け、春の訪れを迎えたいですね。

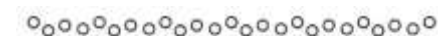


発表会では、劇や歌といった年長らしい姿を見せてくれた子どもたち。堂々とセリフを言うことができ、楽しんでステージに立って頑張る子どもたちに成長を感じることが出来ました。保護者の方から、感動しましたという感想を頂き、とても嬉しく思います。

2日 豆まきがありました。自分たちで作ったお面と升を持ち、参加しました。ホールに各クラス集まって、節分の由来を聞いたり、歌を歌ったり、ダンスを踊ったりしました。鬼がいつ来るのかとソワソワしていた子どもたち。それまでは強気でいた子たちも、物音に敏感に反応したり、表情が強張ったり…。いざ、鬼が登場すると、やはり怖かったようで泣いて逃げ回る子どもたち。逃げる場所がなく、ホールの端で押し合い、奥や角の取り合いでした。そんな中で、怖がりながらも豆を投げる子もいました。最後は、みんな勇気を出して豆を投げる事ができ、またひとつ大きく成長できた豆まきになりました。



8日 パン作りをしました。数日前からパン作りのイメージが持てるように「からすのパン屋さん」の絵本を読んでいた。たくさんの種類のパンの形があり、「こんなパンが作りたい」と口々に話し楽しみにしていた子どもたちでした。パン作りでは、様々な材料をこぼさないように袋の中に入れ、ふったりこねたりして、生地がまとまっていく感触を楽しみました。発酵させた生地を伸ばし、生地の中にあんこを包むことに苦戦する姿もありましたが、車や動物など自分の作りたい形にしていきながら楽しんで作ることができました。焼きあがったパンにチョコペンでそれぞれデコレーションをし、かわいいパンが出来ました。自分たちで作ったパンは、格別だったことだと思います。



エピソード記録



2日（金）の豆まきの一コマです。

豆まきの前にホールで並ぶ順番をくじで決めました。決めるときに、Aちゃん「強いから、一番前（玄関側で鬼が登場する場所に近い所）がいい！」と言っていました。実際にくじを引くと、Aちゃんは言っていた通り一番前になりました。しかし、実際に並んでみると怖くなったようで「一番前ではなく一番後ろがいい」と言い始めました。それを聞いた保育者が「誰かに交代してもらえるか頼んでみたら？」と提案しました。それを聞いたAちゃんは、早速頼みに行きました。しかし、鬼は誰もが怖いもの。一番鬼から遠いであろう所はなかなか交代してくれる友達がいませんでした。そのとき、列の真ん中に並んでいたBくんが「一番後ろじゃないけど、代わってあげようか？」と声を掛けてくれました。それを聞いて、並ぶところを交代してもらうことが出来ました。

この出来事より、Bくんには人を思いやる心が育っていると考えることができます。Bくんの優しさと男らしさに感動しました。Bくんは一番前でも恐れることなく、積極的に豆まきを頑張っていました。



- 3月 2日（金） ひな祭り
- 3月 6日（火） 保小連携 大浦小学校の学校見学に行かせて頂きます。教科は「生活」です。
- 3月12日（月） 体操教室
- 3月20日（火） 身体測定
- 3月23日（金） お別れ会・誕生会
- 3月24日（土） 卒園式
- 3月30日（金） 修了式

